

# 第3回先進インスリン療法研究会

3rd Meeting for Innovative Insulin Therapy

日時：2003年10月25日(土) 13:00～17:30

会場：ベルクラシック甲府 山梨県甲府市丸の内1丁目1-17 TEL：055-254-1000

研究会テーマ

## 21世紀のインスリン治療戦略 —多様なインスリン療法をめざして—

### プログラム概要

#### ■研究会

##### I 特別講演

演題：「米国におけるCSIIおよび連続血糖モニターの臨床応用の実際」

演者：大塚孝裕 先生  
Endocrine Consultant, Loma Linda University-VA Medical Center, USA

##### II パネルディスカッション1 「CSII療法における各社ポンプの利点と欠点」

##### III パネルディスカッション2 「超遅効型インスリンはCSII療法を越えられるか？」

##### IV 一般演題

#### ■展示コーナー

インスリン治療関連デバイスの展示を併催致します。

#### ◎対象

医師、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師他、新しいインスリン製剤、インスリン注入システム、血糖モニタリングシステムなど、先進的なインスリン治療に関心のあるコメディカルスタッフおよび患者さん

#### ■参加会費

医師：3,000円 医師以外：1,500円

### 演題募集

締め切り：平成15年7月15日(火)必着

**募集対象：**インスリン治療に携わっている糖尿病専門医、治療に関心のある医師、糖尿病療養指導士、コメディカルスタッフ、関連企業およびインスリン治療を行っている患者さん

**応募方法：**演題名、氏名、所属、目的、方法、結論を記載した発表要旨を800字以内（図表なし）にまとめて下記事務局までお送り下さい。とくに応募フォームはご用意しておりません。

**送付方法：**応募原稿はテキスト形式で作成のうえ、下記メールアドレスまでお送り下さい。

**採否通知：**世話人会で査読の上、採否決定を行います。なお、応募原稿はご返却致しません。

●看護師をはじめとするコメディカルスタッフによる演題も歓迎致します。

#### ■演題送付および連絡先

第3回 先進インスリン療法研究会 運営事務局  
山梨大学医学部第三内科内 事務局担当：横森 宣彦 E-MAIL：yokomori@res.yamanashi-med.ac.jp  
〒409-3898 山梨県中巨摩郡玉穂町下河東1110 TEL：055-273-9602 FAX：055-273-9685

#### ◎主催

先進インスリン療法研究会

#### ◎後援

(社)日本糖尿病学会、(社)山梨県医師会

#### ◎先進インスリン療法研究会

代表世話人/当番世話人

小林 哲郎 (山梨大学 医学部第三内科)

世話人 石井 均 (天理よろづ相談所病院 内分泌内科)

関原 久彦 (横浜市立大学 医学部第三内科)

津田 晶子 (木戸病院 内科)

豊田 長康 (三重大学 医学部産婦人科)

難波 光義 (兵庫医科大学 総合内科学糖尿病科)

松浦 信夫 (北里大学 医学部小児科)

顧問

野中 共平 (白石共立病院 名誉院長)

本研究会は現在「日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会」として認定を申請しております。本制度により、〈第2群〉(糖尿病療養指導研修単位 1単位)の取得が認められます。

# 2003年10月25日(土) ベルクラシック甲府

研究会 ▶ 3F ユージェニー 13:00~17:30

展示 ▶ 2F オリヴィア 12:30~17:30

受付は12:30より3Fユージェニー前に行ないます。

## 参加申込方法

1. 添付の参加申込書を、本研究会運営事務局までファクシミリにてご返信下さい。
2. 1枚につき5名様までお申し込みいただくことができます。
3. **2003年10月17日(金)**までにお申し込み下さい。
4. 参加の可否は、追って運営事務局よりご連絡申し上げます。

## 日本糖尿病療養指導士の認定更新研修単位について

本研究会は「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として「第2群(糖尿病療養指導研修単位)1単位」が認定されています。

当日、受付にて参加証をお渡し致します。

## 参加会費 年会費

医師	3,000円	2,000円
医師以外のコメディカル	1,500円	1,000円

当日受付にて申し受けます。

患者様は無料です。

## 先進インスリン療法研究会世話人

●代表世話人/当番世話人

小林 哲郎 (山梨大学)

●世話人

石井 均 (天理よろづ相談所病院)

関原 久彦 (横浜市立大学)

津田 晶子 (木戸病院)

豊田 長康 (三重大学)

難波 光義 (兵庫医科大学)

松浦 信夫 (北里大学)

●顧問

野中 共平 (白石共立病院名誉院長)

## お問い合わせ先 — 運営事務局

第3回先進インスリン療法研究会運営事務局

(株)インターグループ内 中之瀬・藤井

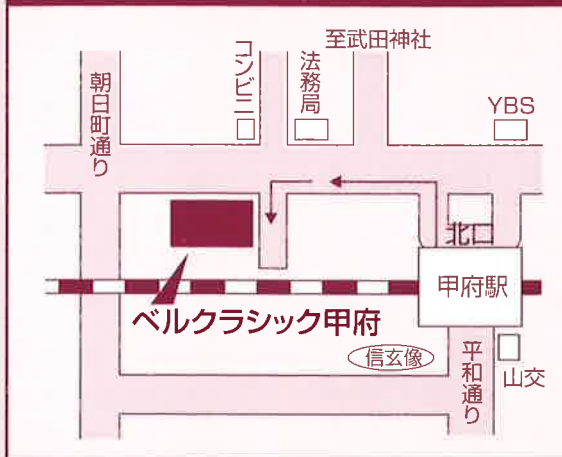
大阪市北区鶴野町3-10

E-mail : secret-2@intergroup.co.jp

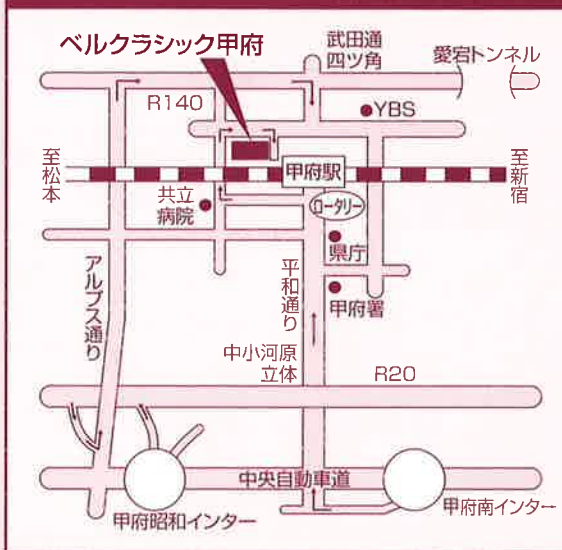
Tel : 06-6372-9345 Fax : 06-6372-6164

## 会場までのアクセス

●電車の場合 ▶ JR甲府駅下車、北口より徒歩3分



●お車の場合 ▶ 中央自動車道 甲府南インターから20分  
甲府昭和インターから20分



# 第3回 先進インスリン療法研究会

21世紀のインスリン治療戦略  
—多様なインスリン療法を目指して—

参加の  
ご案内

開催日 ▶ 2003年10月25日(土)

会場 ▶ **ベルクラシック甲府**

山梨県甲府市丸の内1丁目1-17

TEL: 055-254-1000

主催 ▶ 先進インスリン療法研究会

後援 ▶ (社)日本糖尿病学会  
(社)山梨県医師会

## ●参加会費

医師	3,000円
医師以外のコメディカル	1,500円
患者様	無料

本研究会は「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として「第2群(糖尿病療養指導研修単位)1単位」が認定されています。

# 第3回先進インスリン療法研究会プログラム

「21世紀のインスリン治療戦略—多様なインスリン療法を目指して—」

## 開催にあたって

最近のインスリン療法の進歩には目を見張るものがあり、CSII療法分野では、各社からプログラム可能な機種が発売され、また超遅効型インスリンも本年末には発売が予定されております。

今回の研究会では、米国で専門診療に携わっておられる大塚孝裕先生(Loma Linda 大学)に「米国におけるCSIIおよび連続血糖モニターの臨床応用の実際」と題してご講演頂き、その最新事情をご紹介して頂きます。さらに今回は2つのパネルディスカッション1「CSII療法における各社ポンプの利点と欠点」とパネルディスカッション2「超遅効型インスリンはCSII療法を越えられるか?」を用意させて頂きました。パネルディスカッション1では、最近各社から発売されたCSII用のポンプへの理解が深まるものと期待されます。パネルディスカッション2では、超遅効型インスリンを既に米国でお使いの大塚先生さらに国内の治験の総括的な役割をして頂いた内潟安子先生(東京女子医大)にご発表して頂きます。来るべき超遅効型インスリンの特性につき有用な情報が得られるものと期待されます。

一般演題では、全国より応募頂いたインスリン療法に関する医療者サイドの発表に加え、長年CSIIを実践しておられる患者さんのJoe Kraimerさんに難波光義先生とともにクリニカルトークセッションとしてその体験をご発表頂きます。会場では患者さんの自由な発言も歓迎致します。メーカー展示コーナーに各社より最近の製品をそろえて頂きます。

甲府駅近くの会場で13時から半日の日程で開催いたしますが、東京から会場まではわずか90分の距離ですので、医師、コメディカルスタッフ、さらには患者さん皆様のご参加をお願い申し上げます。

先進インスリン療法研究会代表世話人  
第3回先進インスリン療法研究会当番世話人  
山梨大学医学部第3内科  
小林 哲郎

## 研究会

13:00~17:30 3F ユージェニー

### 13:00 開会の辞

小林哲郎  
第3回先進インスリン療法研究会当番世話人  
山梨大学医学部第3内科

### 13:05 前代表世話人御挨拶

野中昌平  
白石共立病院名誉院長

### 13:10~14:10

#### ●特別講演

「米国におけるCSIIおよび連続血糖モニターの臨床応用の実際」

●座長：小林哲郎  
山梨大学医学部第3内科

●演者：大塚孝裕  
Endocrine Consultant, Loma Linda  
University-VA Medical Center, USA

### 14:10~14:55

#### ●パネルディスカッション1

「CSII療法における各社ポンプの利点と欠点」

●座長：津田晶子  
木戸病院内科

●パネリスト：

#### 1 「ミニメド社のポンプ」について

今村洋一  
久留米大学医学部第4内科

#### 2 「テルモ社のポンプ」について

浜口朋夫  
兵庫医科大学総合内科学講座糖尿病科  
関和子 (患者様)

#### 3 「トップ社のポンプ」について

斉藤文洋  
山梨大学医学部第3内科

### 14:55~15:10 休憩

### 15:10~15:20

#### ●クリニカルトーク

●座長：難波光義  
兵庫医科大学総合内科学講座  
糖尿病科

#### 「My experience of CSII」

Mr. Joe Kraimer  
Baby Care Division, P&G. (患者様)

### 15:20~16:40

#### ●一般演題

●座長：石井均  
天理よろづ相談所病院内分泌代謝内科

#### 1 「少量頻回注射処方による、インスリン外来導入」

百木忠久  
小田原市立病院内科

#### 2 「多摩地域における外来インスリン治療に関するアンケート調査」

大野敦、植木彬夫、住友秀孝、原義人、宮川高一  
糖尿病治療多摩懇話会

#### 3 「超速効型インスリン使用強化療法導入によるQOLと血糖コントロールの変化」

三浦義孝、大磯ユタカ  
名古屋大学糖尿病・内分泌内科

#### ●座長：雨宮伸

山梨大学医学部小児科

#### 4 「小児思春期1型糖尿病症例での超速効型インスリンによるCSII療法の現状と問題点—いかに自己管理能力を高めていくか—」

望月美恵、三井弓子、矢ヶ崎英晃、長嶺健次郎、石原俊秀、佐野友昭、小林浩司、雨宮伸  
山梨大学医学部小児科

#### 5 「CSIIのデバイス管理」

真下泰<sup>1</sup>、中村昭伸<sup>2</sup>、小野百合<sup>2</sup>、秦温信、佐野文男<sup>1</sup>  
1 札幌社会保険総合病院ME部、2 内科・糖尿病

6 「プレプログラマブルインスリンポンプを用い、インスリン持続皮下注入療法(CSII)を導入した1型糖尿病の2例」  
八木慎次、栗原進、渡邊昌樹、大久保智子、根田保、犬飼浩一、井上郁夫、粟田卓也、片山茂裕  
埼玉医科大学第四内科

●座長：柳澤克之  
市立札幌病院内科

#### 7 「CSII導入により血糖コントロールとQOLの改善が得られた聴力障害を伴う1型糖尿病患者の一例」

仙波晴美<sup>1</sup>、大輪紀美<sup>1</sup>、茂内早苗<sup>1</sup>、桐山真子<sup>1</sup>、足立きぬゑ<sup>1</sup>、垣田彩<sup>2</sup>、加藤陽子<sup>2</sup>、三浦義孝<sup>2</sup>、大磯ユタカ<sup>2</sup>  
1 名古屋大学医学部附属病院看護部、2 名古屋大学 糖尿病・内分泌内科

8 「電子カルテネットワークと糖尿病研修会(山武SDM研究会)を活用した地域への超速効型を含むインスリン療法の普及：糖尿病医療連携の新しい試み」  
平井愛山<sup>1</sup>、堀江篤哉<sup>1</sup>、並木隆雄<sup>1</sup>、西原晴美<sup>2</sup>、内藤利枝子<sup>2</sup>、高山芳栄<sup>2</sup>、白鳥清美<sup>2</sup>、外口徳美致<sup>2</sup>、伊藤俊夫<sup>2</sup>、秋葉哲生<sup>2</sup>、松岡健平<sup>2</sup>  
1 千葉県立東金病院内科、2 看護部、3 臨床検査科、4 山武都市医師会、5 済生会糖尿病臨床研究センター

9 「日本人1型糖尿病における超速効型インスリンアナログの有効性の検討」  
丸山太郎<sup>1</sup>、金澤寧彦<sup>2</sup>、島田朗<sup>2</sup>、鈴木裕也<sup>1</sup>  
1 埼玉社会保険病院内科、2 慶應義塾大学医学部内科

#### 10 「非指先部血糖自己測定(SMBG)の臨床的有用性」

小野吹美、石橋深雪、森田幸美、香月都子、沖田信光、野中昌平  
白石共立病院

### 16:40~17:25

#### ●パネルディスカッション2

「超遅効型インスリンはCSII療法を越えられるか?」

●座長：丸山太郎  
埼玉社会保険病院内科

●パネリスト：

大塚孝裕  
Endocrine Consultant, Loma Linda University-VA Medical Center, USA  
内潟安子  
東京女子医科大学糖尿病センター

### 17:25 閉会の辞

次回当番世話人

## メーカー展示

12:30~17:30 2F オリヴィア

参加予定企業 (50音順)

アベンティスファーマ	アボットジャパン	キッセイ薬品工業
三和化学研究所	ジョンソン・エンド・ジョンソン	テルモ
トップ	ニプロ	日本イーライリリー
日本メドトロニック	ノボルディスクファーマ	

### 17:30~19:00 情報交換会